

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	自家移植後にCR未達成者の多発性骨髄腫患者に対するKRd療法の効果と安全性
研究責任者	血液内科 石田禎夫
研究機関名	日本赤十字社医療センター 血液内科
研究目的と意義	<p>骨髄腫の治療は長期間メルファラン、プレドニゾン(MP)療法が標準療法であり、完全奏効(CR)率は5%前後でした。日本では最近の15年間に新規薬剤が10剤承認され、深い奏効と生存期間の延長が得られるようになりました。日本血液学会のガイドラインでは、65歳以下では自家末梢血幹細胞移植(ASCT)を行うことが推奨されていますが、ASCTを行ってもCRを達成しないことがあります。このような症状に対しカイプロリス、レブラミド、デキサメタゾン(KRd)療法などの治療が追加されることがあります。当センターでASCTを行った症例のうちCRを達成しなかった患者さんでKRd療法を行った患者さんの効果と安全性を解析することで、ASCT後のCR未達成患者さんの治療戦略の確立につなげていきたいと考えています。</p>
研究方法	<p>2016年1月から2019年12月の間に当センターで症候性多発性骨髄腫と診断された患者さんのうち、ASCTを施行した患者さんでCRを達成できなかった骨髄腫患者さん16例(年齢37~66歳、年齢中央値58歳)について、KRd療法の効果、安全性を検討し、今後の治療戦略を考察します。</p> <p>倫理的配慮:上記解析は、個人情報保護に十分配慮した上で行います。</p> <p>上記対象に該当される方で、本研究への登録を希望されない場合は下記までご連絡下さい。登録を希望されない場合でも、診療上不利益を被ることは一切ありません。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者:石田禎夫 TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604</p>